



ないとう きくえ
内藤 喜久枝
自由民主党田原市議団



新しい複合施設について市民の意見は どう反映されるのか

地域住民や施設利用者の意見を参考に反映していく

赤羽根市民センター・赤羽根文化会館の再編について

問 赤羽根市民センター・赤羽根文化会館の再編の取り組み状況と課題は。

答 田原市公共施設等総合管理計画の方針に基づき、統合・複合化を前提に、必要な機能の選定、適正な規模やコストを踏まえ、既存施設を取り壊す計画で取り組んでいる。課題は、再編施設全体の在り方と跡地利用などであり、赤羽根地域の将来展望の中で、地域の意見も踏まえつつ進めていく必要がある。

問 赤羽根地域コミュニティ連絡協議会からは、赤羽根市民センター一帯の施設の方向性の説明と、参加者に意見を聞く場を設けることを求める要望書が提出されており、去る3月に住民との意見交換会が開催されたが、どのような状況だったのか。

答 3市民館で延べ76名の方が参加し、4時間にわたる活発な意見交換会だった。

問 新しい複合施設について、市民の意見はどのように反映されるのか。

答 地域住民や施設利用者の意見を参考に、複合施設にふさわしいものについては、当然反映していく。

問 赤羽根市民センターと赤羽根図書館の施設の複合化について、具体的な整備の手法は。

答 現敷地内への複合施設の新設を第一候補に、さまざまな観点から総合的に検討している。

問 現敷地内が第一候補であるとした理由は。

答 市民の利便性やコストなどさまざまな観点からの検討に加え、赤羽根地域コミュニティ連絡協議会の意見等を踏まえて判断した。

問 跡地利用について市の考え方は。

答 市全体の土地利用の方針や市民サービスの在り方、地域の活性化等を考慮し、民間活用を含めた土地利用を考えて進める。



※グローバルカフェ
地域の外国人住民と日本人住民が、日ごろ感じていることや困っていること等を話し合いながら、顔の見える関係づくりを目的とした交流の場。

問

ことができること、そして、それらにより、地域全体の防災力の向上にもつながっていくものと期待を込めて捉えている。

答

本市の外国人の生活保護の状況および対応方針は。生活に困窮する外国人に対しては、永住者、定住者の在留資格等、一定の条件を満たしていることを確認し、これまで通り生活保護法に準じた措置を行っていく。

問

法に基づく日本人への生活保護と、通知に基づく外国人への生活保護に準じた措置とで、その決定に関する審査や生活状況に関する指導等で、日本人と外国人との取り扱いの違いがあるのか。

答

外国人に対する生活保護の措置については、生活保護法による日本人の生活保護同様、決定時の審査、生活状況に関する指導に違いはない。